

## MISUMI Art Collection

**Marina Kappos** (マリーナ・カポス)

《イエロー・ライン》2005年、アクリル絵具／キャンバス

左側に見えるヤシの木がロサンジェルス風景であることを示している。しかしカリフォルニアらしからぬ、どんよりとした灰色の空。

うっすらとした山の稜線が画面を三等分し、下方に鮮やかな黄色のラインが一本。駐車禁止帯のイエロー・ラインのようだ。しかし木々の葉の色といい、グレーの道路といい、若いアーティストが選ぶ色彩にしては地味すぎないだろうか。おそらく誰もが目を留めない風景に違いない。

そんな何気ない日常の景色をアート作品に変貌させてしまうのがアーティストたる所以なのだ。そして雑多な色が氾濫する仕事場には、シックな色合いの空間が心地よい。

空間デザインも学んだ彼女だからこそ、絵だけが目立つことのない落ち着いた静かな空間を演出できるのだ。4、5年前来日したマリーナは作品サイズとびつたりの壁面に大喜びしていた姿が印象的だったのを思い出す。

同じようなビルが立ち並ぶ中、「絵のあるビルの絵の前で」と待ち合わせ場所にもなりつつある。どのビルも決まって観葉植物と熱帯魚の水槽(住友ビルだけかもしれないが)。でも絵だとメンテナンスの費用は掛からないし、まず企業イメージ・アップに繋がることは言うまでもない。

 **MiSUMi**

## ミスミグループ通信 vol.47

2016年4月1日～2017年3月31日



© Marina Kappos

 **MiSUMi**

株式会社 ミスミグループ本社

〒112-8583 東京都文京区後楽二丁目5番1号 飯田橋ファーストビル

TEL: (03) 5805-7037 FAX: (03) 5805-7372

URL: <http://www.misumi.co.jp/>

証券コード: 9962

## Top Message

メーカー事業と流通事業を併せ持つ  
ミスミならではの強みを活かし、  
生産材プラットフォームへの変革を加速してまいります。



代表取締役社長 CEO 大野 龍隆

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
デジタルものづくりのグローバルな進展に伴って、  
一層高まる設備設計、間接材調達の合理化ニーズを好機ととらえ、  
生産材プラットフォームへの業態変革を加速していきます。

### ■2017年3月期連結業績について

2017年3月期(以下、2016年度)におけるミスミグループを取り巻く経営環境は、全体として緩やかな回復基調が続きました。米国では個人消費や在庫投資が増加し、景気回復が続きました。中国では各種政策効果もあり、消費は堅調に増加し景気持ち直しの動きが見られました。また、日本でも個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られ、企業収益や雇用情勢が改善しました。

このような環境において当社グループは、メーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の非効率を解消することで世界の製造業に貢献し、同時に事業拡大を加速させています。ITを核とした新たなものづくりに応えるため、引き続きウェブ戦略を推進し競争力を強化しました。また、海外における拠点展開として、最適調達を目的とした現地生産・現地調達を推進し、グローバル確実短納期供給体制の強化に努めました。これらの

取り組みなどにより、自動車業界やエレクトロニクス業界の需要増を取り込んだFA事業や取り扱いメーカー数を拡大し顧客数が増加したVONA事業を中心に売上高が増加し、為替変動の影響を受けたものの、連結売上高を拡大することができました。

その結果、連結売上高は2,590億円、前年比7.9%の増収となり、6期連続で過去最高を更新しました。また、利益につきましては、営業利益は前年比5.6%増益の271億円、当期純利益は前年比8.8%増益の183億円となり、売上高と同様、過去最高を更新しました。

配当金につきましては、2011年度期末配当より配当性向を20%から25%に引き上げております。今年度もこの基準を引き続き維持し、1株当たり期末配当金は9円10銭とさせていただきます。これにより、年間配当金は中間配当金7円61銭と合わせまして、16円71銭(前年比1円29銭の増配)となりました。

## ■ 生産材プラットフォームへの進化を加速

生産材プラットフォームへの業態変革



欧州の「インダストリー4.0」、米州の「インダストリアル・インターネット」、中国の「中国製造2025」など、デジタルものづくりは、グローバルに着々と進展してきました。

こうした構造変化により、設備設計や間接材調達の合理化ニーズは一層高まり、生産設備関連部品における設計工数の短縮や、製造副資材市場における購買プロセスの効率化がより強く求められています。

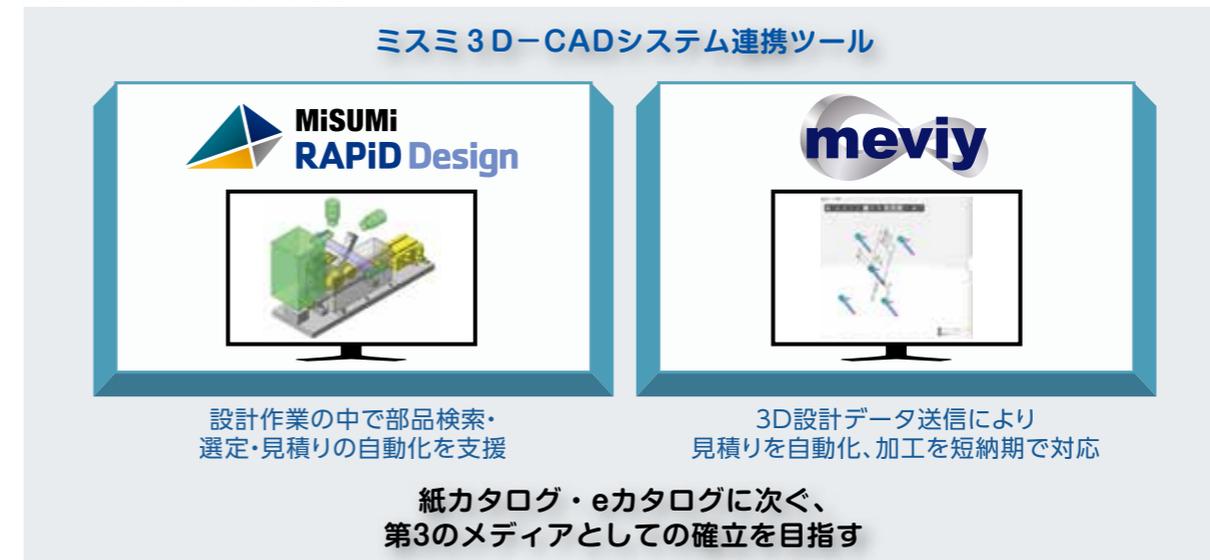
ミスミグループでは、このような産業構造の変化を好機到来と認識し、IT強化とグローバル対応を一層加速させ、生産材プラットフォームへの業態変革に取り組んでいます。

当社の事業は、メーカー事業と流通事業、そしてこれら

を支える事業基盤の3本柱で構成されており、2017年度においても、各々の業態変革を強力に推し進め、生産材プラットフォームへの進化を加速させていきます。以下、業態変革の主な取り組みをご紹介します。

## ■ メーカー事業のデジタルモデルシフト

設備設計合理化ニーズへの対応



デジタルものづくりのグローバルな進展によって、FA\*需要が世界規模で高まっていることから、メーカー事業では、当社MTO品(受注製作品)の強みを活かしたデジタルものづくりへの対応を推進しています。

FA事業においては、グローバル確実短納期供給体制の拡大により、海外売上高を確実に成長させてきました。今後はさらに、設備設計の合理化ニーズに対応することで、海外事業の拡大を加速させていきます。

そのため、設計プロセスの革新に向けて、当社ならではのユニークな展開として、設備設計支援ツールを随時拡充しています。その代表例が、設計者が利用するCADと

連携した「RAPiD Design」と「meviy」です。

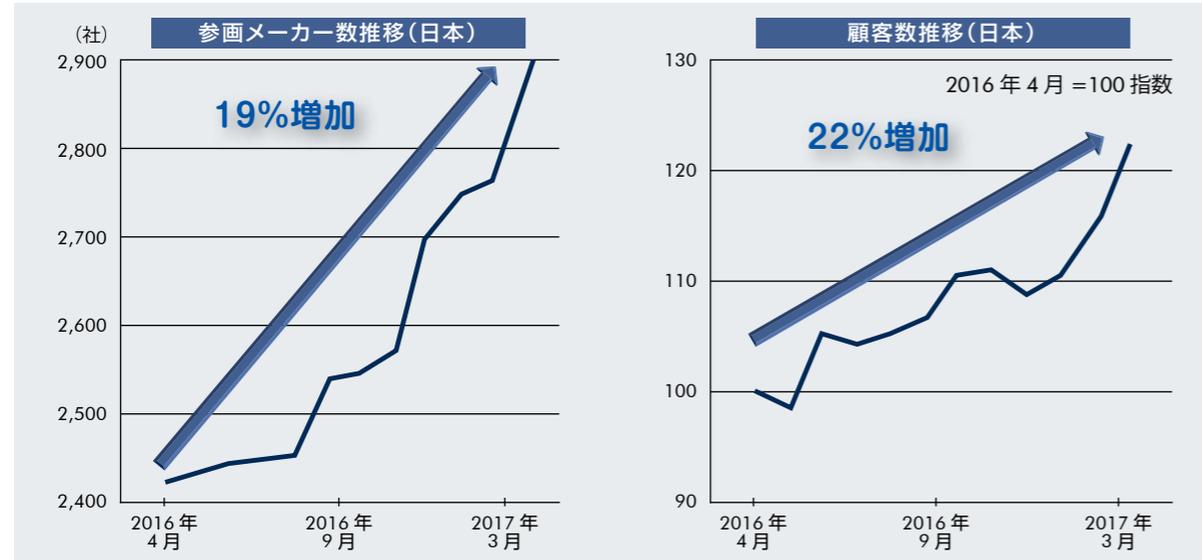
「RAPiD Design」は、設備設計の各プロセスにおいて、部品検索・選定・見積りの自動化を支援するサービスで、今後は国内のみならず、グローバル展開を図っていきます。「meviy」は、3D設計データを送信するだけで見積りを自動化し、そのまま加工まで短納期で対応できるサービスで、今後は、現在の金型部品事業だけでなく、FA事業にも展開していく予定です。

当社では、紙カタログ、eカタログに次ぐ、第3のメディアとしての3D-CADシステム連携ツールと位置付け、サービスの定着を図っていきます。

\*FA:Factory Automation

## ■ 流通事業のグローバル展開加速

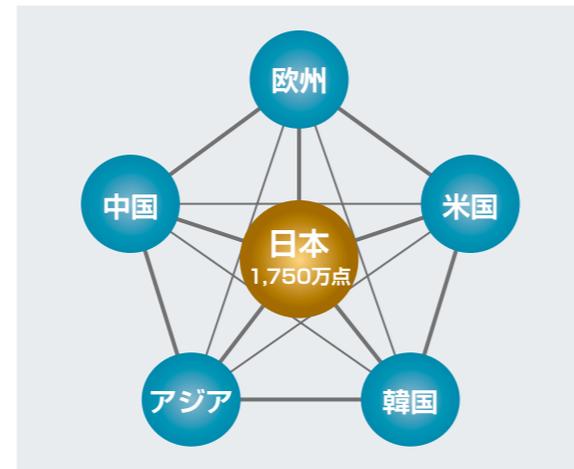
### VONA事業成長ドライバー



VONA\*事業は、ミスミブランド以外の他社製品も含めた生産設備関連部品から、製造副資材やMRO(消耗品)までを扱う当社の流通事業です。2016年度は、事業の成長ドライバーである取扱メーカー数の拡大と品揃え強化に努め、取扱点数は国内で1,750万点、取扱メーカー数は2,900社を超えました。

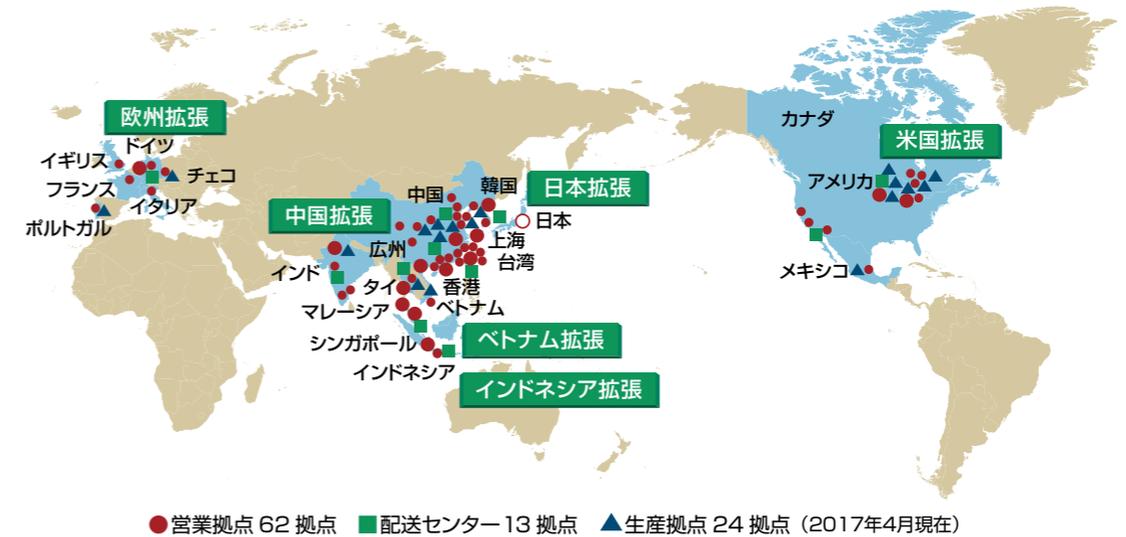
また、海外では、中国、韓国での展開を開始しており、今後はタイ、ベトナム、インドネシア、および欧米にも順次展開していく予定です。日本品に加え、現地調達品のグローバル相互商品供給により、圧倒的な品揃えの実現を目指します。

### VONA商品グローバルネットワーク



## ■ 物流基盤の再強化とIT基盤の強化継続

### グローバル確実短納期供給体制強化のための物流拠点拡張

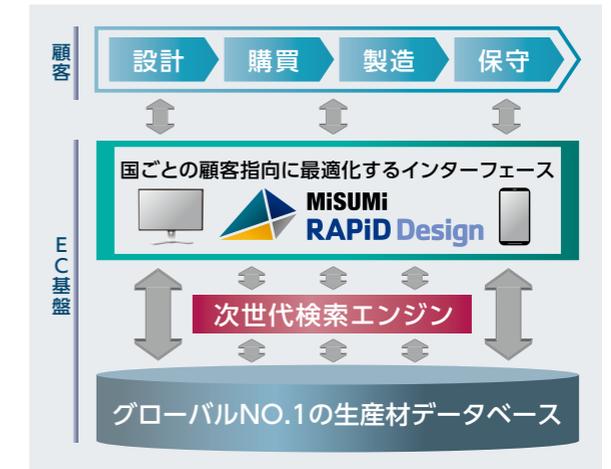


事業基盤においては、物流基盤の再強化とIT基盤の継続強化を推進していきます。

物流基盤の再強化については、すでに世界規模で展開している物流拠点をさらに拡張することで、グローバル確実短納期供給体制の徹底強化を図っていきます。

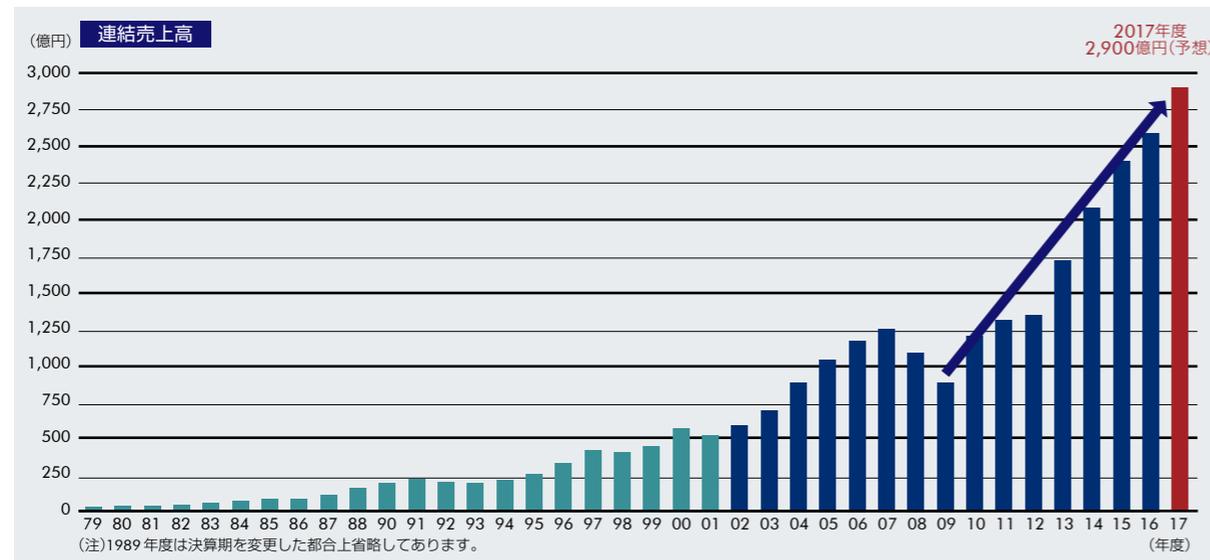
また、IT基盤については、当社の強みであるEC基盤をさらに磨き込み、グローバルNo.1の生産材データベースを基盤とした次世代検索エンジンの活用により、国ごとに異なる顧客の発注形態に対応し、さらなる顧客の利便性向上に努めていきます。

### IT基盤の強化



## ■2018年3月期の連結見通し

### ミスミグループの業績推移



世界経済および日本経済の先行きについては、引き続き緩やかな回復が続くことが予想されるものの、米国の金融政策正常化の影響、中国をはじめアジア新興国等の景気の先行きなど、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に加え、地政学リスク等にも留意が必要で、今後も不透明な状況が続くものと思われます。

このような市場環境下において、ミスミグループは商品ラインアップの拡充とコスト競争力強化を進めるほか、グローバル確実短納期供給の強化に努め、国際市場での一層の事業拡大により、市場シェアの伸長を図ることで、連結売上高・利益ともに引き続き過去最高を更新する予定です。

また、1株当たり配当金は、年間19円60銭(中間9円17銭、期末10円43銭)を予定しております。

株主の皆さまには、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2017年6月

代表取締役社長 CEO **大野 龍隆**

## ベトナム現地法人 営業展開本格化

ミスミグループのグローバル確実短納期供給を推し進める中、アジア地域における確実短納期の進化に向け、AEC(アセアン経済共同体)サプライチェーンの再構築を推進しています。その一環として、2017年2月にベトナム現地法人を設立し、当社ベトナム工場を積極活用しながら、進出企業の需要増大に対応していきます。

現在、ハノイ本社、ホーチミン営業所の南北2極体制で営業を開始しており、今後はこれらの拠点を起点として、大手携帯・電機・電子メーカーが積極投資を続けるベトナム市場に確固たる基盤を構築していきます。



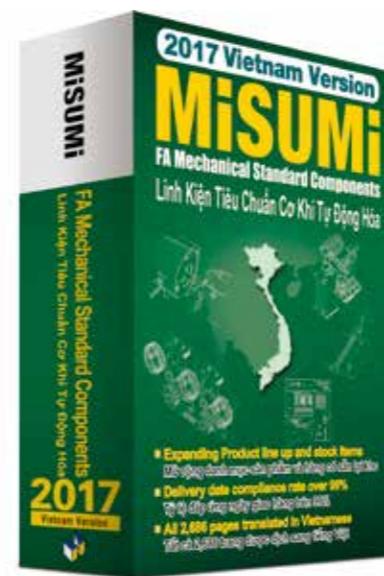
ベトナム現地法人本社

### ■ベトナム現地法人概要

社名	Misumi Vietnam Co.,Ltd
資本金	2億円(株式会社ミスミ100%出資)
所在地	ハノイ近郊 バクニン省ティエンソン工業団地 (ホーチミン市に営業所)
従業員数	76人(2017年4月1日時点)

2月にはベトナム国内向けのeカタログ(ECサイト)を開設し、300万点以上の商品の販売を開始しています。また、4月には当社として初の全頁ベトナム語表記のFA部品の紙カタログを発売しました。カタログは2,697ページにわたり、60万点以上の商品を掲載しています。

eカタログに加えて紙カタログを発売することにより、現地製造業のお客さまの部品選定・購買における利便性向上、技術知識習得支援を図っていきます。



ベトナム語表記のFA部品 紙カタログ

## ■ 連結財務ハイライト

2017年3月期の売上高は2,590億円(前年比7.9%増)、営業利益は271億円(同5.6%増)となり6期連続で過去最高を更新しました。

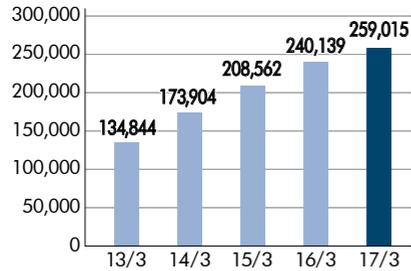
セグメント別売上高は、FA事業846億円(前年比10.9%増)、金型部品事業697億円(同0.1%増)、VONA事業1,045億円(同11.5%増)となりました。

地域別売上高は、日本1,403億円(前年比8.8%増)、中国434億円(同12.5%増)、アジア326億円

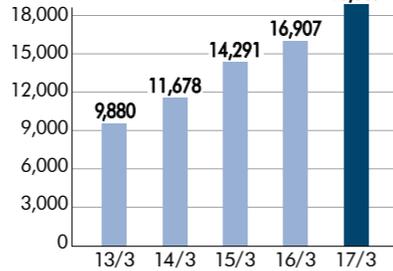
(同13.2%増)、アメリカ257億円(同4.9%減)、ヨーロッパ125億円(同3.9%増)、その他42億円(同6.0%減)となり、海外売上高比率は45.8%(同0.5ポイント減)となりました。

2017年3月期の期末配当金は9円10銭とし、年間配当金は中間配当金7円61銭と合わせ1株当たり16円71銭(前年比1円29銭の増配)とさせていただきます。

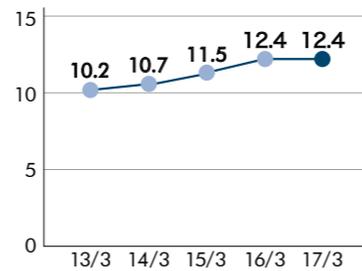
● 売上高 (単位:百万円)



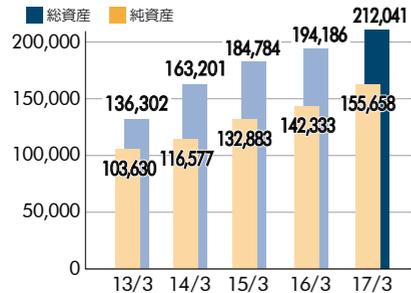
● 当期純利益 (単位:百万円)



● ROE (単位:%)

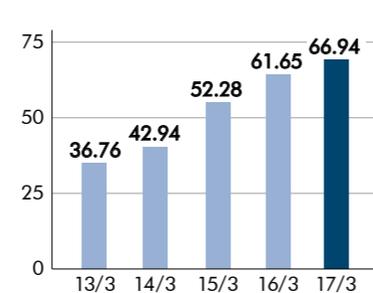


● 総資産、純資産 (単位:百万円)



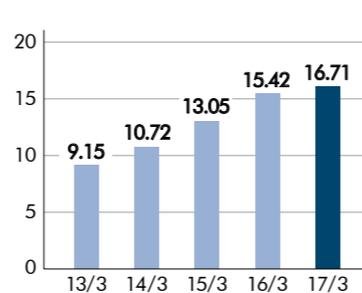
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 1株当たり当期純利益\* (単位:円)



\*2015年7月1日付の株式分割調整後。

● 1株当たり配当金\* (単位:円)



## 事業概要

FAなどの自動機の標準部品を主に扱うFA事業、自動車や電子・電気機器などの金型部品を主に扱う金型部品事業、新たな流通事業としてミスブランド以外の他社商品も含めた生産設備関連部品に加えて、製造副資材やMRO(消耗品)などを販売するVONA事業で構成されております。

### ■ ミスミグループの主な取扱製品

取扱商品群	精密機械部品 1,750万点					
FA事業 FA用メカニカル標準部品	シャフト	タイミングプーリ	リニアプッシュ	平ベルトコンベヤ		
FA事業 位置決め・計測機器(OST事業)	自動ステージユニット	アクチュエータ	光学計測器	光学デバイス組立検査装置		
金型部品事業 プレス金型用標準部品	パンチ	ボタンダイ	精密級ガイドピン	ガススプリング		
金型部品事業 プラ型用標準部品	エジェクタピン	スプルーブッシュ	パーティングロックセット	テーパピン		
VONA事業 メカニカル部品/ねじ・ボルト・座金・ナット	センサスイッチ	継手	ねじ・ボルト・ナット	キャスタ		
VONA事業 配線部品/制御部品・PC部品	コネクタ	スイッチ	ケーブル	トランス		
VONA事業 切削工具/生産加工用品	エンドミル	六角棒レンチ	旋盤用チップ	ノギス		
VONA事業 梱包・物流保管用品/安全保護・環境衛生・オフィス用品	台車	作業用手袋	パーツクリーナー	研究開発用品		

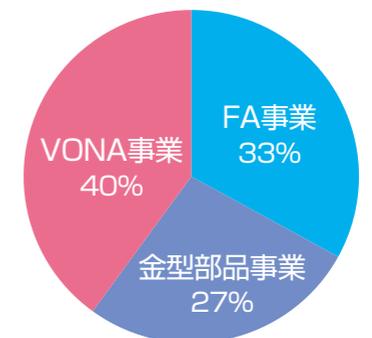
\*FA: Factory Automation \*OST: Optical & Scientific Technology \*VONA: Variation & One-stop by New Alliance

### ■ セグメント別売上高・営業利益の推移 (単位:百万円)

		当期		前期	
		2016.4.1~2017.3.31	2015.4.1~2016.3.31	2015.4.1~2016.3.31	2014.4.1~2015.3.31
FA事業	売上高	84,669	76,369		
	営業利益	14,417	12,159		
金型部品事業	売上高	69,797	69,732		
	営業利益	3,097	3,464		
VONA事業	売上高	104,548	93,758		
	営業利益	9,950	10,249		
調整額	売上高	—	279		
	営業利益	△338	△182		
合計	売上高	259,015	240,139		
	営業利益	27,127	25,690		

\*当連結会計年度より、セグメント区分を変更しております。

### ■ 連結売上高比率 [2017.3.31]



●連結貸借対照表(単位:百万円)

科目	当期 2017.3.31	前期 2016.3.31
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	160,281	140,795
現金及び預金	63,179	52,891
受取手形及び売掛金	57,847	49,373
たな卸資産	33,310	30,058
繰延税金資産	3,010	2,604
未収還付法人税等	780	1,067
その他	2,454	5,055
貸倒引当金	△301	△257
<b>固定資産</b>	51,759	53,391
有形固定資産	27,874	29,180
無形固定資産	19,012	19,714
ソフトウェア	9,568	6,159
のれん	1,011	3,457
その他	8,432	10,097
投資その他の資産	4,873	4,495
<b>資産合計</b>	<b>212,041</b>	<b>194,186</b>

科目	当期 2017.3.31	前期 2016.3.31
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	37,246	31,585
支払手形及び買掛金	16,974	14,414
未払金	9,033	5,951
未払法人税等	3,332	3,847
賞与引当金	2,286	2,383
役員賞与引当金	242	310
その他	5,378	4,679
<b>固定負債</b>	19,135	20,267
新株予約権付社債	10,388	11,268
繰延税金負債	2,663	3,462
退職給付に係る負債	4,509	3,992
その他	1,573	1,544
<b>負債合計</b>	<b>56,382</b>	<b>51,853</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	153,724	138,475
資本金	7,593	6,996
資本剰余金	17,982	17,385
利益剰余金	128,226	114,169
自己株式	△76	△76
<b>その他の包括利益累計額</b>	805	2,986
新株予約権	675	342
非支配株主持分	453	527
<b>純資産合計</b>	<b>155,658</b>	<b>142,333</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>212,041</b>	<b>194,186</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結損益計算書(単位:百万円)

科目	当期 2016.4.1~ 2017.3.31	前期 2015.4.1~ 2016.3.31
売上高	259,015	240,139
売上原価	151,564	139,096
売上総利益	107,451	101,043
販売費及び一般管理費	80,323	75,352
営業利益	27,127	25,690
営業外収益	511	536
営業外費用	1,176	1,108
経常利益	26,462	25,119
特別利益	-	109
特別損失	391	225
税金等調整前当期純利益	26,071	25,003
法人税、住民税及び事業税	8,601	8,858
法人税等調整額	△888	△805
当期純利益	18,357	16,950
非支配株主に帰属する当期純利益(△は純損失)	△29	42
親会社株主に帰属する当期純利益	18,387	16,907

●連結株主資本等変動計算書(単位:百万円)

当期 2016.4.1~2017.3.31	株主資本					その他の 包括利益 累計額	新株 予約権	非支配株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
2016年4月1日残高	6,996	17,385	114,169	△76	138,475	2,986	342	527	142,333
当期変動額									
新株の発行	596	596	-	-	1,193	-	-	-	1,193
剰余金の配当	-	-	△4,299	-	△4,299	-	-	-	△4,299
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	18,387	-	18,387	-	-	-	18,387
連結子会社の決算期変更に伴う増減	-	-	△30	-	△30	-	-	-	△30
自己株式の取得	-	-	-	△0	△0	-	-	-	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	△2,181	332	△74	△1,923
当期変動額合計	596	596	14,056	△0	15,249	△2,181	332	△74	13,325
2017年3月31日残高	7,593	17,982	128,226	△76	153,724	805	675	453	155,658

●連結包括利益計算書(単位:百万円)

科目	当期 2016.4.1~ 2017.3.31	前期 2015.4.1~ 2016.3.31
当期純利益	18,357	16,950
その他の包括利益		
その他の有価証券評価差額金	6	△13
為替換算調整勘定	△2,225	△4,192
退職給付に係る調整額	14	△28
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	△4
その他の包括利益合計	△2,216	△4,238
包括利益	16,141	12,711
(内訳)親会社株主に係る包括利益	16,206	12,700
非支配株主に係る包括利益	△64	11

●連結キャッシュ・フロー計算書(単位:百万円)

科目	当期 2016.4.1~ 2017.3.31	前期 2015.4.1~ 2016.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,508	16,714
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,056	△9,470
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,008	△3,581
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25	△1,724
現金及び現金同等物の増減額	9,417	1,937
現金及び現金同等物の期首残高	39,204	37,267
現金及び現金同等物の期末残高	47,840	39,204

■発行可能株式総数 1,020,000,000株

■発行済株式総数 275,689,140株

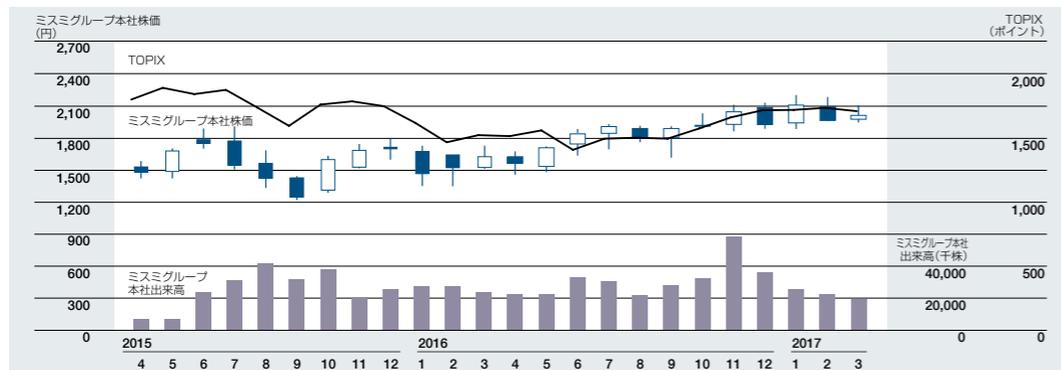
■株主数 4,933名

■大株主

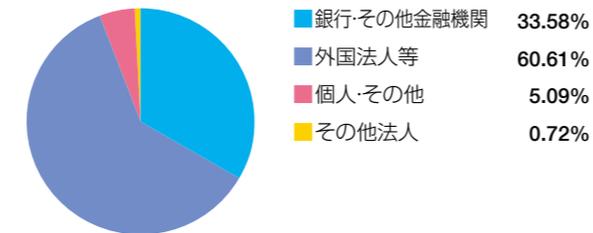
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	44,279	16.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	22,309	8.10
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 常任代理人 香港上海銀行東京支店	11,567	4.20
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	10,678	3.88
MSCO CUSTOMER SECURITIES 常任代理人 モルガン・スタンレーMUFJ証券株式会社	7,614	2.76
GOLDMAN,SACHS&CO.REG 常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社	6,396	2.32
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	6,112	2.22
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	5,993	2.17
田口 弘	5,930	2.15
資産管理サービス信託銀行株式会社	4,729	1.72

(注) 持株比率は小数点以下第3位を四捨五入しております。

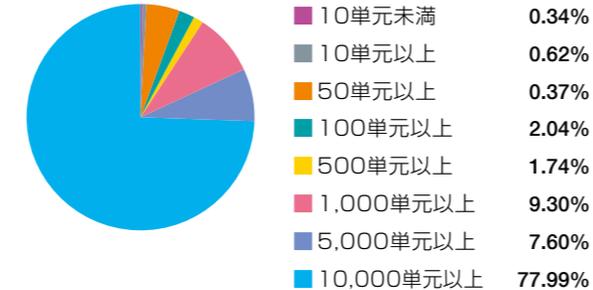
■株価の推移



■株主構成  
所有者別株式分布状況



■所有株数別株式分布状況 (1単元の株式数100株)



■会社概要

商号	株式会社ミスミグループ本社 (英文名: MISUMI Group Inc.)
設立	1963年2月23日
本社	東京都文京区後楽二丁目5番1号 飯田橋ファーストビル
資本金	75億93百万円
事業内容	グループの経営戦略立案や管理ならびにそれらに付随するグループ経営に必要な機能を有する
従業員数	10,167名 (ミスミグループ連結)
URL	<a href="http://www.misumi.co.jp/">http://www.misumi.co.jp/</a>

■ミスミグループトップマネジメント(2017年6月15日現在)

□取締役

取締役(議長)	三枝 匡	取締役会議長
取締役	大野 龍隆	代表取締役社長 CEO
取締役	池口 徳也	取締役副社長
取締役	池口 男澤	常務取締役 CFO
取締役(社外)	沼上 幹	
取締役(社外)	沼上 小城	
取締役(社外)	西本 武彦	
取締役(社外)	西本 甲介	

□経営執行役員

ミスミグループ本社		
代表取締役社長 CEO	大野 龍隆	
取締役副社長	池口 徳也	
常務取締役 CFO	池口 男澤	
常務執行役員	内田 洋輔	
常務執行役員 CIO	佐藤 年成	
常務執行役員	高田 高明	
グループ統括執行役員	有賀 誠	
グループ統括執行役員	丸井 和巳	
グループ統括執行役員	萩平 和巳	

■企業体・本部・サービスプラットフォーム

中国企業体 代表執行役員 CEO	金谷 知樹
アジア企業体 代表執行役員 CEO	清水 重貴
FA G事業本部 代表執行役員	中川 理恵
VONAIL/クオニクス事業本部 代表執行役員	中村 茂仁
VONAメカニカル事業本部 代表執行役員	高阪 貴夫
VONAツールサプライ事業本部 代表執行役員	加藤 匡一
生産サービスプラットフォーム 代表執行役員	遠矢 工
物流サービスプラットフォーム 代表執行役員	岡本 道明
MIGサービスプラットフォーム 副代表執行役員	白尾 直樹
ITサービスプラットフォーム 副代表執行役員	峰島 孝之

□監査役

監査役	宮本 博史
監査役(社外)	野末 寿一
監査役(社外)	青野奈々子

□顧問

特別顧問・創業者	田口 弘
----------	------

■株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(同送付先) 〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL 0120-232-7111 (通話料無料)

上場証券取引所 市場第1部

公告の方法 電子公告  
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

公告掲載URL <http://www.misumi.co.jp/ir/>

お知らせ

株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等)のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に登録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。

TEL (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)  
インターネットアドレス <http://www.tr.mufj.jp/daikou/>

業績予想に関する留意事項

この資料に掲載されている通期の見通しおよび将来に関する記述部分につきましては、国内および諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、ミスミグループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、さまざまな要素により、これら事業予想とは大きく異なる結果となり得ることをお知らせいたします。

実際の業績に影響を与える重要な要素にはミスミグループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。